

第3期の振り返り

●「救急キット・健康カード」の整備

前回募集から5年が経過し、「健康カード」の書き換えが必要なことに合わせ「救急キット」の全世帯への整備を目指して再募集が取り込まれ、95%の世帯に整備されました。**未整備世帯・新規転入世帯の方は町内会に申し出てください。**

●お茶べりサロン「さんさん」の開設

毎月第4水曜日11時～14時 於:連合町内会館
参加費:100円 「楽しく・気軽に・無理なく・自由に」をモットーにお好きな時間に、弁当などの持ち込みも自由。地域の皆様に楽しんで頂ける場を提供。**皆様のお越しをお待ちしています。**

地域福祉保健施設の分布



実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、おおよその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。

背景図:横浜市都市計画基礎調査

施設リスト

子ども施設

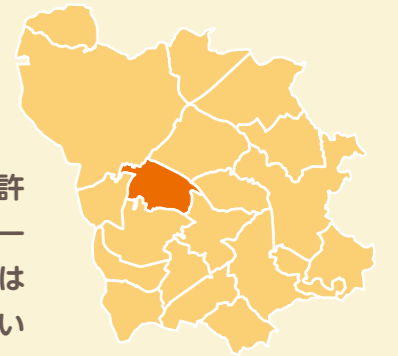
- ◆ 家庭的保育事業
- ① 瀬戸保育室
- ◆ 幼稚園
- ② しみずがおか幼稚園

高齢者施設

- ◆ 小規模多機能居宅介護
- ① アルメリア
- ◆ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- ② みんなの家 横浜今宿
- ◆ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- ③ 今宿ホーム
- ④ 陽光苑
- ◆ 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)
- ⑤ リハビリホームグランダニク

第4期
きらっとあさひプラン

二俣川
ニュータウン地区

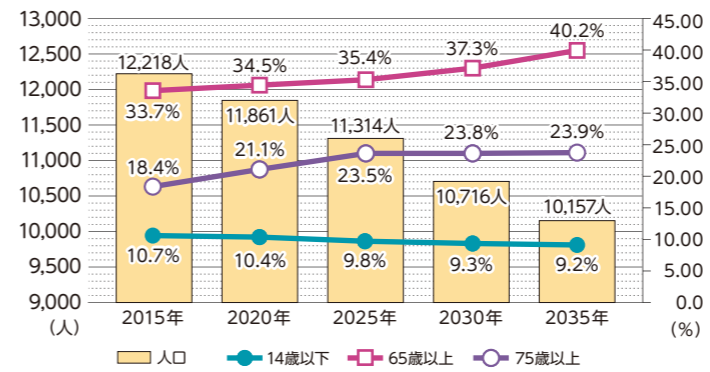


二俣川ニュータウン地区は、区中西部に位置し、県立がんセンター・県免許センターと保土ヶ谷バイパスにはさまれた丘陵地を開発して生まれたニュータウンと、その周辺の地区からなります。開発から約50年が経過し、現在では11町内会・4,000世帯、10,000人が居住し、その9割を戸建て住宅が占めています。

DATA

将来人口推計

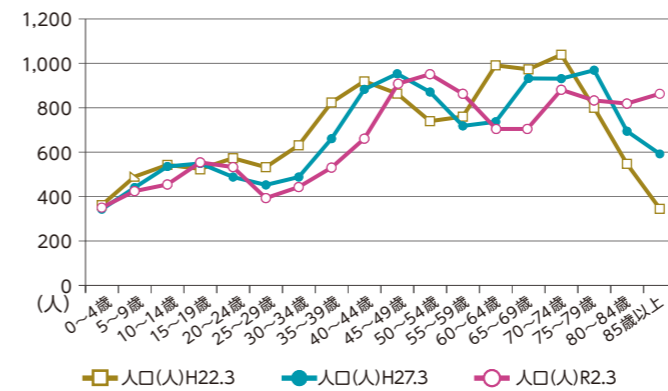
出典:横浜市統計ポータルサイト「町丁目別世帯と男女別人口」(各年3月末現在)



将来人口推計は、今後も減少が推測され、65歳以上の比率は2035年頃には40%を超えます。
14歳以下の比率は、2025年に9%台になることが推測されます。

年齢5歳別人口の動向

出典:横浜市統計ポータルサイト(各年3月末現在)



平成22年には70～74歳であった5歳別人口数のピークは、令和2年には50～54歳となっています。また、平成22年・27年に比べて、5～14歳の5歳別人口は減少、80歳以上の5歳別人口は増加しています。
65歳以上の高齢者の割合は、平成27年には33.7%でしたが、令和2年には34.5%となりました。区平均の29.2%と比較しても、高齢化が進んでいることが分かります。

人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	H22	H27	R2	H22～R2 増減数	H27 構成比(%)	R2 構成比(%)	R2 区平均 構成比(%)
総人口(人)	12,446	12,218	11,861	▲585	100.0	100.0	100.0
0～14歳(人)	1,401	1,310	1,231	▲170	10.7	10.4	11.6
(内0～6歳)(人)	558	494	521	▲37	4.0	4.4	4.9
15～64歳(人)	7,349	6,795	6,541	▲808	55.6	55.1	59.2
65歳以上(人)	3,696	4,113	4,089	393	33.7	34.5	29.2
(内65～74歳)(人)	2,011	1,862	1,582	▲429	15.2	13.3	13.2
(内75歳以上)(人)	1,685	2,251	2,507	822	18.4	21.1	16.0
総世帯数(世帯)	5,246	5,331	5,360	114	-	-	-
平均世帯規模(人/世帯)	2.37	2.29	2.21	▲0.16	-	-	2.13

出典:横浜市統計ポータルサイト「町丁目別世帯」、「町丁目別年齢別男女別人口」(各年3月末現在)

※人口・世帯数の数値は町丁目別単位での集計のため、町丁目地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。

私たちが描く地区の未来図

『住んで良かったと思える街ニュータウン』
— 誰もがともに、自分らしく安心して暮らせるまち —

地域のつながりを大切にして、若い世代も巻き込みながら、幅広く顔の見える関係を築き、お互いを尊重し、気にかけて、自分らしくいきいきと暮らしていけるまち、「ふるさと」と呼べるまちを目指します。

目標と主な取組

目標 A 「見守り」 外出機会を増やし、顔見知りを増やす

- ④ 「災害時要援護者」名簿をはじめ、既収集名簿の見守りへの活用検討を行います。
- ④ より幅広い横断的な「見守り連絡会議」(仮称)を設置し、見守りの仕組みづくりと見守り情報の一元化をはかります。
- ④ 各種地域活動の活性化・組織拡大に向けた支援策を実施します。
- ④ 常設サロンの開設に向け、検討を行います。



目標 B 「担い手」 新たな人材の発掘、若い世代の参加・活躍

- ④ 行事開催に必要なボランティアの募集・組織づくりを目指します。
- ④ ボランティア活動の人材確保への支援を行います。
- ④ 高校生、大学生が担い手に参加できる仕組みを検討し、実施します。
- ④ 広報人材や防災拠点ボランティアなど幅広い人材発掘をめざします。

目標 C 「広報」 必要な情報への容易なアクセス

- ④ 連合・社協の広報を統合した「ニュータウン広報」の発行をめざします。
- ④ 地区社協のホームページを充実させ、地域の行事や、サークル活動の情報、その他の情報を積極的に掲載し、情報を発信します。
- ④ 行事の結果等も掲載し、地域で起こっていることを共有します。
- ④ 大学生や成人等になってニュータウンから引っ越された人たちにも、「ふるさと」と思える・思いだされるような作りにします。

「ホームページ」一度検索してみてください

目標 D 「防災」 安心して住み続けるために

- ④ 「防災連絡協議会」「防災拠点運営委員会」の連携をはかり、より実践的な防災訓練の実施を進めます。
- ④ 「防災懇談会」などの開催により、防災意識の向上をすすめます。
- ④ 自助(家屋の耐震・家具の転倒防止、食糧・簡易トイレ等の備蓄)を支援します。
- ④ 共助(発災時の安否確認・避難所運営等)の充実をはかります。
- ④ 「災害時要援護者・災害弱者」等への対応と支援を検討します。

これまでの取組み

「チョコットしえんたい」活動

2007年 第1期計画の事業として発足。65才以上の要援助高齢者や障害者世帯を対象に民生委員と連携し、「生活支援サービス」として、庭木の剪定・草取り・芝刈り・ごみ処理・包丁研ぎ・家具の移動固定など幅広いサービスを提供しています。2020年度の実績は421件におよび、24人のサポーターにより住民の要望に応じています。リピーターも多く、今日では地域にとってなくてはならない活動となっています。



「並木愛護会」活動

2011年 第2期計画の事業として、59名のサポーターにより発足した「並木愛護会」は、バス通りを中心に沿道約1000mの両側に250本の銀杏が植栽され、秋には素晴らしい黄葉に彩られます。その一方で大量の落葉を生み、清掃は高齢化が進む沿道住民の大きな負担となっていました。その負担をすこしでも地域で共有することをめざし発足し、現在では清掃エリアが銀杏並木に加え、トウカエデやこぶし並木にも拡大し、115名のサポーターを中心に落葉清掃活動を実施しています。(2020年度の延参加者1540名・別途小中学校の児童生徒も参加)



推進体制

福祉保健計画推進二俣川ニュータウン福祉懇談会…
連合町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、保健活動推進員会、老人クラブ、青少年指導員会、小・中学校PTA、子育てサロン、ボランティアグループ連絡会